

木原（K I H A R A）っ子スタイルめざす授業構造(R6)

美浦村立木原小学校

K I . . . 「基礎基本」を繰り返そう！
H A . . . 「ハーモニー」一人一人の考えを大事にした協働学習で意見をつなぎ、高めよう！
R A . . . 「楽楽学び」を表現しよう！
・何を学ばせたいのか、どんなことを感じてほしいのか、毎時間の教師の明確で強い意志が大前提。

過程	指 導 者	児 童	留意事項・ICT の活用
つかむ	本時めあての提示（黄枠） 問題提示（生活体験や具体物の提示） ○ I C T の活用 ・電子黒板 ・タブレット ・実物投影機 ・デジタル教科書 ・教材 ○学習の流れを示す。 ・既習事項の確認，解決の方向性を確認し，どの児童も，学習の見通しをもって自分タイムに入っていけるように支援をする。	○本時のめあて（ ）をノートに記入する。 ○本時の問題をつかみ，見通しをもつ。 黄枠（ ・ ） ○本時の学習の流れをつかむ。（ ・ ）	○ ICT レディネス作り <u>既習の知識確認，児童の興味関心を高めるための働きかけ（映像，実物）</u> ○ ICT レビュー（前時のノートを画面に写す） ○電子黒板で課題を把握させる。 ○操作活動を工夫して，本時で身に付けるべきスキルを押さえ，自力解決に入る場合もある。
たどる	児童理解の時間（机間指導） ○ <u>思考のポイント</u>を明確に示す。 ○ <u>ノートへの表し方</u>に着目し思考過程を把握する。 ○ 10 分程度で考える。 ○ 児童の <u>個々の思考を分類</u> ○ ヒントカードの提示	○ ノートに自分の考えを書く。 言葉で，図で，絵で，関係図で線分図で整理していく。 （考えの根拠・理由も表現できるようにする。）	○ 一人一人の <u>思考・見方</u>を見る。 ○ 短く要点を絞って文章を書く。 → 枠で囲むなど構造的に ○ 多様な考えができる児童を大切にし，結果より過程を大切にする。 ○ 調べ学習タブレット PC （インターネット・デジタルコンテンツなど） ○ 児童の思考を助けるタブレット PC・ワークシートの作成 ○ <u>教師の働きかけによるつなぎ合い</u>（児童と児童）
つなぎ高め合う 学び合い ねり上げ	調整する（コーディネート） ○ねらいに沿ったものを絞り込む。 ○話し合いが成立しているかを机間指導する。 ○違う方向にいきそうになったら本時のめあてに立ち戻る。 なるほど	○友達とチームを組んで互いの意見を交換し合う時間とする。 ○お互いの考えを聴き合う。 ○みんなでチームとしての意見を創り上げる。 ○比較し合う。	○いろいろな考え方・解決の方法・手順を明確に ○間違っているところ→「たりない部分」「惜しい部分」 <u>チームごとに静かに支援</u>していく。 ○ずれを感じたら，どこまで分かっているのか，問題になっていることをはっきりさせ，ずれの解消を図る。 ○話の内容が本時のめあてから脱線していたら，本時のめあてを確認させる。 ○複数のタブレット PC or 一台で。 ○ <u>何についての話し合い</u>か <u>焦点化</u>を図る。 ○チームごとの意見を自分達で比較検討して「なるほど」と気付けるように，つなぎ合い，まとめる。
	○ <u>ねらいに沿ったものを全体の前で取り上げ</u>，<u>分かりやすく板書</u>するなどして <u>絞り込んでいく</u>。（児童用ホワイトボード等）	（コの字の隊形もしくは全員前向き） ○全体に意見を出す。	○意欲の継続，意図的な指名，順序・比重を考える。 ○ <u>練り上げ・高める方向へ教師が導く</u>。 ○学習形態の変化によりメリハリをつける。 ○プレゼンを行う。 （タブレット PC，電子黒板使用）
まとめ	フィードバック ○ <u>本時のねらいについて児童の学びの深さを確認</u>する。	（形態の工夫） ○本時のまとめ  をノートに記入し，赤枠で囲む。	○本時で児童に身に付けさせたい力を意識したまとめを行い、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。
定着	○ねらいに即した練習問題を行う。 ・基本の問題 ・ジャンプの問題 できた	○練習問題を解く。	○学習内容の定着の時間を十分確保し、「できた」喜びを感じ、「もっとやってみよう」という意欲をもって、次時に臨めるようにする。
振り返る	○本時の学習を通して身に付いたことや気付いたこと、参考になった友達の意見、次時への意欲等を自分のことばで記入させる。 もっとやってみよう	○解決に至った道筋，その過程を思い出しながら，本時の授業の振り返りをノートやワークシートに書く。	